

IP Address の変更手順 (G1946/G1956)

* この作業を行っても現象が改善されない場合や、この手順書で不明点がありましたら、カスタムコタクトセンター (0120-477-111) までご連絡ください。

尚、G6100 シリーズとは方法が異なる部分がございます。

G6100 シリーズをご使用の場合は、IP Address の変更手順 (G6100 シリーズ) を参照ください。

1. Agilent BootP サーバーサービスを停止します。
[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。
[Agilent Bootp] サービスを右クリックして、[停止] を選択します。
2. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Agilent BootP サービス] > [BOOTP 設定の編集] を選択します。
[BOOTP 設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. 既存の BootP タブファイルを編集するには、[Bootp タブファイルを管理しますか] を選択します。
BootP タブファイルには、このダイアログボックスで指定するコンフィグレーション情報が入っています。
BootP タブファイルのテンプレートを作成するには、[テンプレートbootp タブファイルの作成] を選択して、
[テンプレートの作成] ボタンをクリックします。
4. BootP タブファイルのファイル名とパスを入力します。デフォルトのファイル位置は、
..¥Program Files¥Common Files¥Agilent Shared¥BootP¥bin¥TabFile です。
別の場所を選択するには、[参照] を選択します。
デフォルトのディレクトリとデフォルトのタブファイル名を受け入れることをお勧めします。
5. [Bootp 要求をログに記録しますか?] チェックボックスをオンにすると、デバイスホストが BOOTP
サーバーからコンフィグレーション情報を要求するごとに、BOOTP ログファイルにあるエントリが
作成されます。
6. [ログブックファイルロケーション] テキストボックスで、BootP ログファイルのファイル名とパスを
入力します。デフォルトのファイル位置は、
..¥Program Files¥Common Files¥Agilent Shared¥BootP¥bin¥LogFile です。
別の場所を選択するには、[参照] を選択します。デフォルトのディレクトリとログファイル名を
受け入れることをお勧めします。
7. [サブネットマスク] テキストボックスで、ネットワークゲートウェイのサブネットマスクを入力します。
この数値は IP アドレスと組み合わせることで、お使いのデバイスホストマシンのネットワーク場所を
識別します。この情報が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8. [ゲートウェイ] テキストボックスで、ネットワークゲートウェイの IP アドレスを入力します。このテキストボックスは必須ではありません。この情報が必要であるかどうかについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ゲートウェイが存在しない場合は、すべてゼロを入力してください。
9. [OK] をクリックして、入力した情報を保存してダイアログボックスを閉じます。
10. BOOTP サーバーを再起動します。
11. サーバーを起動したら Windows のデスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[Agilent Bootp] サービスを右クリックして、[開始] を選択します。
12. ハブから、LC JetDirect を取り外します。
13. スマートカードにある [リセット] を押すと、LC/MS がリセットされます（装置電源を入れ直します）。ログファイルが、LC/MS スマートカードの MAC アドレスを検出します。
14. ログファイルを右クリックして、コンテキストメニューから [プログラムから開く] > [プログラムの選択] > [Notepad] を選択することで、Windows Notepad を開きます。スマートカードの MAC アドレスをコピーします。
15. LC JetDirect をハブに接続します。
16. JetDirect が取り付けられているモジュールの電源スイッチを切り、再度オンにします。ログファイルが、JetDirect カードの MAC アドレスを検出します。
17. JetDirect カードの MAC アドレスをコピーします。